



▲手に汗握る攻防の連続。選手たちの顔に流れる汗が輝いていました

## 全国へ羽ばたけ 女子ソフトボール フェスティバル

8月13日～15日に全国高校招待女子ソフトボールフェスティバルを上大野グラウンドで開催しました。この大会は、古河第二高等学校の女子ソフトボール部がインターハイに10回出場したことを記念して毎年開催しているものです。

今年も強豪校である埼玉栄高等学校や本庄第一高等学校など1都7県から16校が参加。真夏の太陽の下、数々の熱戦が繰り広げられました。



▲古河城を見立てた櫓を囲んで多くの人が踊りました

## 夏の風物詩 古河盆踊り大会

8月14日・15日、古河第四小学校で第62回古河盆踊り大会を開催しました。児童たちにより打ち水が実施された校庭からは涼が漂い、暑さが和らぐひとときを過ごしました。

櫓の上では、「古河甚句」や「枕河盆踊り唄」のお囃子が演奏され、来場者は歌を口ずさんだり踊りの輪に加わったりして思い思いに盆踊りを楽しみました。

## 平和の尊さを考えよう 非核平和パネル展

7月27日～8月16日、市内3カ所で非核平和パネル展が開催されました。戦争の無益さ、平和の尊さ等を考えてもらう目的で、古河市非核平和都市推進委員会が毎年実施しています。会場では真剣な表情でパネルに見入る親子の姿が見られ、「学校で友達にも話したい」と悲慘な戦争の様子に平和への思いを強くしていました。



▲戦時中の用具をじっと見つめる小学生

## 子育て応援サイクル事業 「りさ育てる」引き渡し会



▲参加者はそれぞれ希望の子育て用品を探しました

7月25日、中央公民館で「りさ育てる」引き渡し会を開催しました。これは子どもの成長に伴い不要となった子育て用品を必要としている人に無償で譲り、子育て世代の経済的負担の軽減を図る目的で行われています。当日は60人が参加し、ベビーカーやチャイルドシートなど46品が希望者の手に渡りました。

## 「惚ろにがうり」を食べよう 市の名産品を使った料理教室 ニガウリの佃煮

7月27日、三和農村環境改善センターで農業農村パートナーシップ活動推進委員会によるニガウリの佃煮料理教室が開催されました。地元農家が生産した「惚ろにがうり」を使って、保存食でもある佃煮を作りました。参加者は「ほろ苦くて甘い味だから食欲がそそられるね」「暑い夏を元気に過ごせる」と笑顔を見せていました。



▲ニガウリの栄養や食べ方について話し、調理を進めました

## 古河のブランド肉を食べ尽くし！ 第12回古河マルシェ ～肉祭り～



▲蔵の雰囲気を楽しみながら、肉の食べ比べをしていました

7月21日、富岡蔵・酒井蔵で古河マルシェ～肉祭り～が開催されました。今回は、市内で肥育された常陸牛とローズポークが提供されたこともあり、前回より多くの人でにぎわいました。

普段は市内に流通しない肉を食べた人たちからは、「古河市で牛や豚が肥育されてるの?」「すごく柔らかくておいしい」などの声が聞こえました。